

# ギャラリー

過去の展示PDFファイル [私の道具箱 2008年9月11日～11月9日道具と作品](#)  
[私の埴輪 2007年12月1日～1月31日埴輪作品展。](#)  
[袖、その表情を作る2009年3月1日～4月29日](#)

## 私の埴輪 3 馬場咲夫作陶展

平成21年11月12日～17日 国立アートスペース 8 8

埴輪は古墳の結界として使われ、  
内側からも外側からも、よく見えるように並べられた。  
死者にとっては生前の物に囲まれ安らかに、  
生者にとっては丘の上に並ぶ埴輪に、  
かつての王様の栄華を偲びます。

私には丸く穏やかな形に、両世界が隣り合い自然に  
行き来した、古代人の理想の死生観を見る気がします。  
埴輪の形を借り、色々な動物を楽しんで作りました。

鉢とはサンスクリット語で托鉢のための器の漢訳です。  
古代にインドからはるばる仏教と共に  
日本に伝えられました。

現代の鉢の形にも思いが感じられます。

普段見慣れているどの器物も  
形作られてきた歴史が込められていて  
意識して見ると器も本来の表情を現します



会場 1階で入りやすい



ウインド



後ろ姿もいい



私はカバになりたい



文句あるか



冬近し



飛べ飛べ



獲物は



居心地良し



なんだ



ハイタッチ



以外に尾が大きい



それがどうした



馬のおしゃべり



チャボ一家



ん、



今日は



サソリ怖い



美味しそう



すります



とろり



豪華



鉢は楽しい



会場で作る

[トップページへ](#)